



2026年3月期第2四半期
決算説明会資料



株式会社ウッドワン
2025年12月2日

- 東証スタンダード市場（証券コード7898）

(2025年3月31日時点)

商号	株式会社ウッドワン
所在地	広島県廿日市市木材港南1－1
設立	1952年4月
資本金	7,324百万円
事業内容	住宅建材設備事業・発電事業
従業員数	単体 1,179名（連結 2,178名）
国内営業拠点	東京・名古屋・大阪・福岡など全国45拠点
国内製造拠点	本社（廿日市）・豊橋・蒲郡



国内

海外



グループ会社

株式会社ベルキッチン（岐阜県瑞浪市）

株式会社フォレストワン（広島県廿日市市）

※主要製造拠点は広島県庄原市

株式会社ウッドジョイ（広島県廿日市市）

ニュージーランド子会社 / Juken New Zealand Ltd.

フィリピン子会社 / Juken Sangyo(Phils.)Corp.

香港子会社 / 沃達王國際有限公司

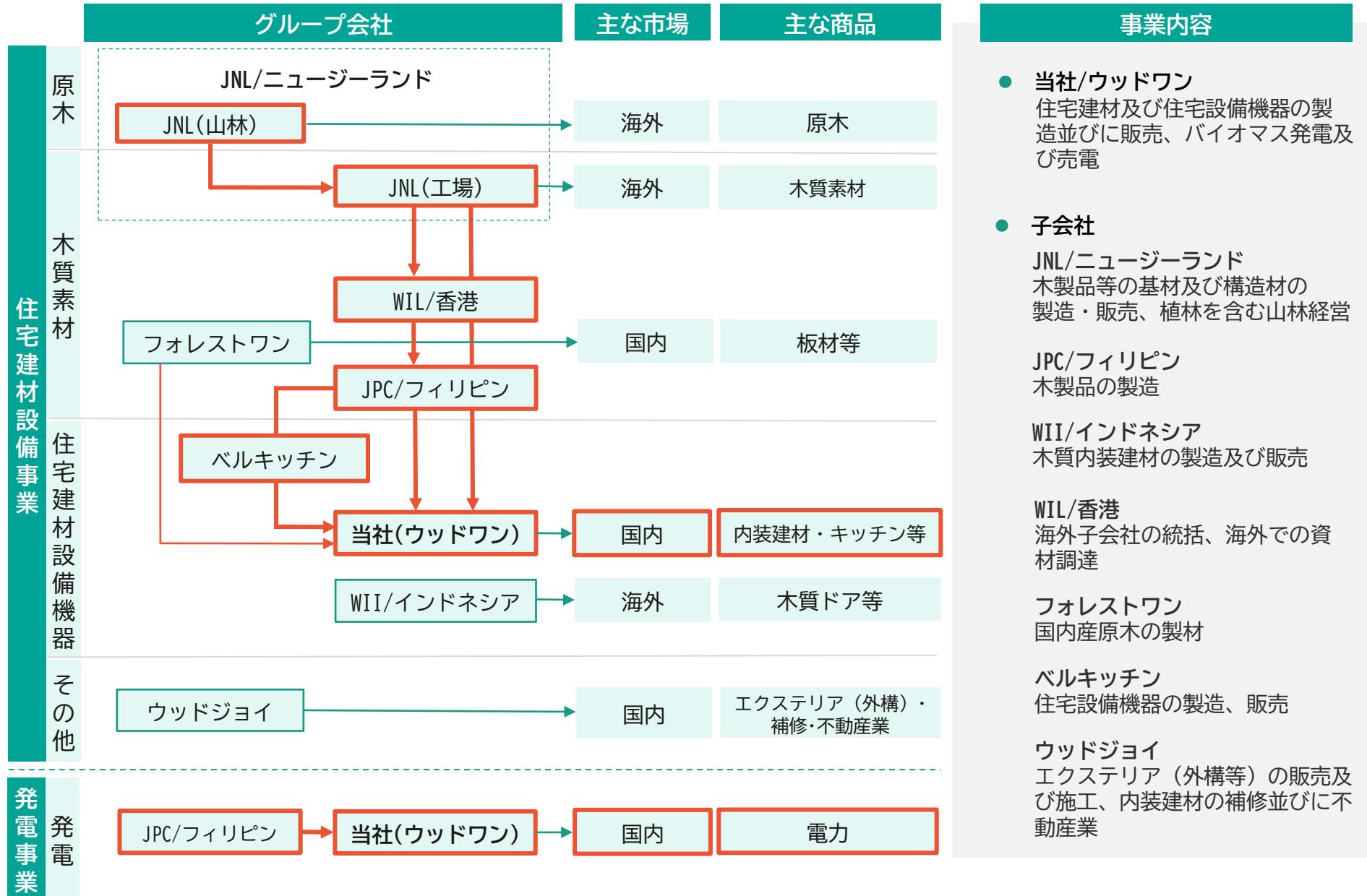
インドネシア子会社 / PT. Woodone Integra Indonesia

事業系統図

→ グループ間取引
→ グループ外取引

当社の主要な商流 【一貫生産販売体制】

WOODONE



経営環境

- 2025年4月に施行された改正建築基準法の影響や昨今の住宅価格の高騰を受け、当社グループの主力販売市場である日本国内の持家と分譲戸建住宅を合わせた着工戸数が、前年を大きく下回る水準で推移。
- 売上原価に対する影響度が高いNZDは、前年同期末90.75円/NZDから当期末86.01円/NZDとなり、前年同期比では円高NZD安で推移（期初比では若干円安NZD高）。

住宅建材 設備事業

- 国内は、価格改定効果やリフォーム・非住宅分野の売上増加があったものの、持家と分譲戸建住宅を合わせた着工戸数減少により、前年同期比で減収。
- 海外は、ニュージーランド子会社の売上が減少した一方、インドネシア子会社においては米国向け販売が好調に推移。

発電事業

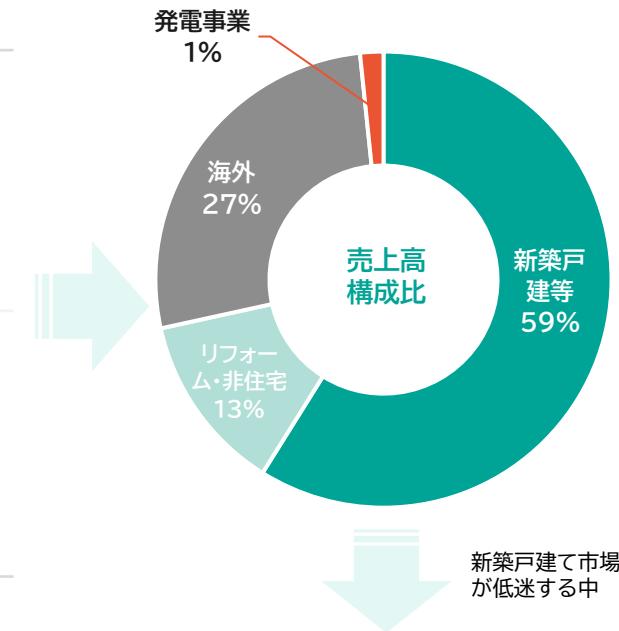
- 発電事業は、バイオマス燃料の需要が増え続ける中、依然、燃料代は高止まりしているものの、製造経費が大きく減少し、前年同期比で増益。

	2025/3期 2Q	2026/3期 2Q	前期比	(百万円)	ポイント
売上高	31,826	31,533	△293		<ul style="list-style-type: none"> インドネシア子会社の米国向け販売が好調に推移し売上が増加した一方、国内の住宅需要が低調に推移したことなどから、国内およびニュージーランド子会社の売上が減少し、全体としては減少。
売上総利益	8,346	8,350	+3		
粗利率	26.2%	26.5%	+0.3pt		
販管費	8,061	8,063	+1		
販管費比率	25.3%	25.6%	+0.3pt		
営業利益	284	287	+2		
経常利益	301	670	+368		
当期純利益	161	766	+605		
期末為替レート	90.75	86.01	△4.74		
				【参考】 営業外収益 前期：補助金収入 330百万円 当期：排出権収入 647百万円 補助金収入 50百万円 特別利益 当期：受取保険金 387百万円	

セグメント情報

	2025/3期 2Q	2026/3期 2Q	(百万円) 前期比
売上高※	31,847	31,556	△291
・住宅建材設備事業	31,320	31,035	△285
国内 新築戸建等	19,331	18,586	△745
リフォーム・非住宅	3,645	3,998	+352
海外 ニュージーランド子会社	6,299	5,546	△752
インドネシア子会社	2,024	2,890	+866
その他	20	12	△7
・発電事業	526	521	△5
営業利益	284	287	+2
住宅建材設備事業 合計	259	201	△57
発電事業 合計	25	85	+60

※売上高にはセグメント間の内部取引を含む。



基本戦略

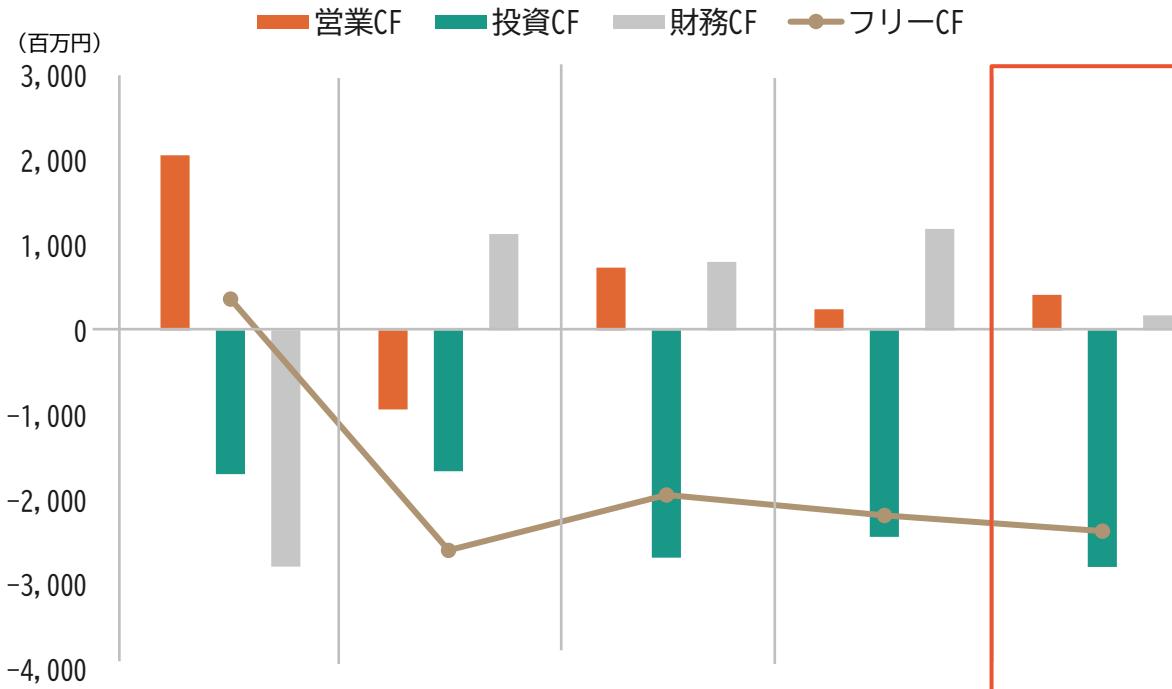
- ・ 新築戸建等（高付加価値商品の拡販）
- ・ リフォーム、非住宅の開拓
- ・ 海外市場の開拓

連結貸借対照表の状況

(百万円)

	2025/3期 4Q	2026/3期 2Q	増減	為替影響除き	増減要因
流動資産	29,453	30,050	+596	+820	
現預金	5,440	3,357	△2,082	△2,046	※主な内訳は、次ページ「キャッシュ・フローの状況」を参照
棚卸資産	14,805	15,619	+814	+885	
受取勘定他	9,208	11,072	+1,864	+1,981	・前期JNLギスボン工場売却債権（長短振替）+1,191 ・売上債権：+733
固定資産	72,653	72,846	+193	+380	
立木	22,019	22,808	+788	+589	
その他固定資産	50,633	50,038	△594	△209	・前期JNLギスボン工場売却債権（長短振替）△1,191 ・有形固定資産(立木除く)：+542 ・投資有価証券：+437
資産合計	102,106	102,897	+790	+1,201	
流動負債	31,111	31,948	+836	+1,260	
有利子負債	19,545	20,838	+1,292	+1,444	
支払勘定他	11,566	11,109	△456	△183	
固定負債	25,380	24,626	△753	△809	
有利子負債	20,384	19,383	△1,000	△1,034	
その他	4,996	5,243	+246	+224	
有利子負債合計	39,929	40,221	+292	+410	・設備投資や山林投資資金の調達
負債合計	56,492	56,574	+82	+450	
純資産合計	45,614	46,322	+707	+750	・主に当期純利益+766
負債純資産合計	102,106	102,897	+790	+1,201	

キャッシュ・フローの状況



主な当期増減要因

- **営業CF :**
税引前利益 + 減価償却費 : +2,774
売上債権増加 : △703
棚卸資産増加 : △866
法人税等の支払 : △599
- **投資CF :**
有形固定資産の取得 : △2,566
➢ 主に山林投資
- **財務CF :**
長短借入・返済 : +409
配当金の支払 : △111

(注) フリーCFは「営業CF」と「投資CF」の合計です。

2026年3月期の業績予想・配当予想

連結業績	2026/3期 当初予想	2026/3期 修正予想	2026/3期 2Q	(百万円)
				通期予想比 進捗率
売上高	66,000	66,000	31,533	47.8%
営業利益	1,100	1,100	287	26.1%
経常利益	600	1,200	670	55.8%
当期純利益	300	1,000	766	76.7%



配当予想 : 変更なし

配当	2025/3期	(円)
		2026/3期 予想
中間	12.00	12.00
期末	12.00	12.00
合計	24.00	24.00
配当性向	12.6%	22.3%

業績予想等に対する進捗

- 売上高は、全体としては概ね計画どおりに進捗。
- 利益面は、営業利益進捗率が26.1%にとどまっているものの、9月に実施した価格改定の効果や、インドネシア子会社の業績好調による利益の上積みが下期に見込まれており、第2四半期時点では、概ね計画どおりの進捗。一方、保守的な見地などから当初予想に織り込んでいなかった排出権収入および火災に係る受取保険金の計上により、経常利益および当期純利益は計画を上回る進捗。
- 売上高および営業利益については、上記のとおり、概ね計画どおり進捗していることから前回予想を据え置き。経常利益および当期純利益は一過性の収益が発生したことにより上方修正。

- 米国の関税政策による当社グループ業績への影響については、第1四半期決算時にお知らせいたしましたが、その後の経過につきまして、以下のとおりお知らせいたします。

対象取引	インドネシア子会社の米国向け販売。
インドネシアと米国との関税交渉の結果	2025年7月16日に発表され、当初提示されていた32%から19%へと大幅に引き下げられて合意。
米国市場での競合国	中国および南米など。
現状および今後の見通し	<p>足元では、関税引き上げ前の駆け込み需要に加え、比較的関税率が低いインドネシア子会社へ競合他国からの受注が流入したことにより、売上や利益の増加につながっている。駆け込み需要は今後一旦落ち着く見込みだが、低い関税率を背景としたインドネシア子会社への受注流入は継続する見通しで、現時点で特段のマイナス要因は確認されていない。</p> <p>今後開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。</p>



2026年3月期第2四半期
決算補足資料



木を育み、木の恵みを受け取る、木と人のgood communication ウッドワン価値創造の軌跡

ウッドワンの強み

ウッドワンの歩み

強み 1 苗木づくりから家づくりまで住宅事業の展開

広島の地に林業を起こし、建材の加工・製造、建築部材の設計・生産を行う総合木質建材メーカーとして70年余の歴史を刻んできました。

強み 2 木を知り木を科学する

自ら育てた木を高度な加工技術でさらに建材として適材適所に活かすウッドワンでは、木を究めたプロフェッショナル人材を育成。素材の持ち味を引き出しながら強度・耐震性など機能面でも優れた建材に再生させてきました。

強み 3 40,000haの森林を経営

国内だけでなく海外の森林を調査し、1990年代からニュージーランドに良質なニュージーパイン[®]の森林を取得。再生可能な資源である森林を育む植林・間伐、伐採を30年周期で繰り返しながら事業を展開し、国産材とともにクリーン調達・安定供給しています。

強み 4 省施工・省資源の推進

少子高齢化等の社会構造の変化にともない、大工や職人の減少が社会課題となっています。ウッドワンは省施工商品の開発や、施工現場の独自の廃材削減を通じて課題解決に取り組んでいます。

強み 5 高付加価値商品で世界を豊かに

1本の木を無駄なく利用し、化学物質などシックハウス症候群の原因を取り除いて自然な木材のぬくもりをお届けする—ウッドワンは人に優しい高付加価値商品で世界を豊かにしています。

...1960

/ 1970

/ 1980

/ 1990

/ 2000

/ 2010

/ 2020

1935年 広島県に木材業創業

1970年 蒲郡工場新設

1980年 LVL工場、集成材工場完成

1990年 ニュージーランドに現地法人設立

2002年 働くウッドワンに社名変更

2010年 国内外の木質建材関連工場で森林認証を取得

2022年 広島県庄原市と立地協定を締結

1952年 倉中本林業設立、1960年に株式会社に組織変更

1970年 豊橋工場新設
1974年 長尺合板壁材「羽目口ング」発売

1984年 新造作材工場完成

1992年 ニュージーパイン[®]の無垢材を使った無垢ドア「ジュビーノシリーズ」発売

2006年 株式会社ベルテクノ（現ベルキッキン）を子会社化

2008年 ウッドワンブランドで初のシステムキッチン「スイジー」発売

2024年 建材新シリーズ「WO Timeless standard collection」発表

1967年 わが国初の超大型合板プラントによる長尺合板縁甲板「フロング」生産開始



「フロング」の廊下

1969年 倉住建産業へ社名変更



LVL 階段 (鋼木樓)

1999年 フィリピンに現地法人設立



2015年 バイオマス発電設備新設。発電事業参入
2016年 株式会社フォレストワーク設立
2018年 インドネシアの現地法人を子会社化



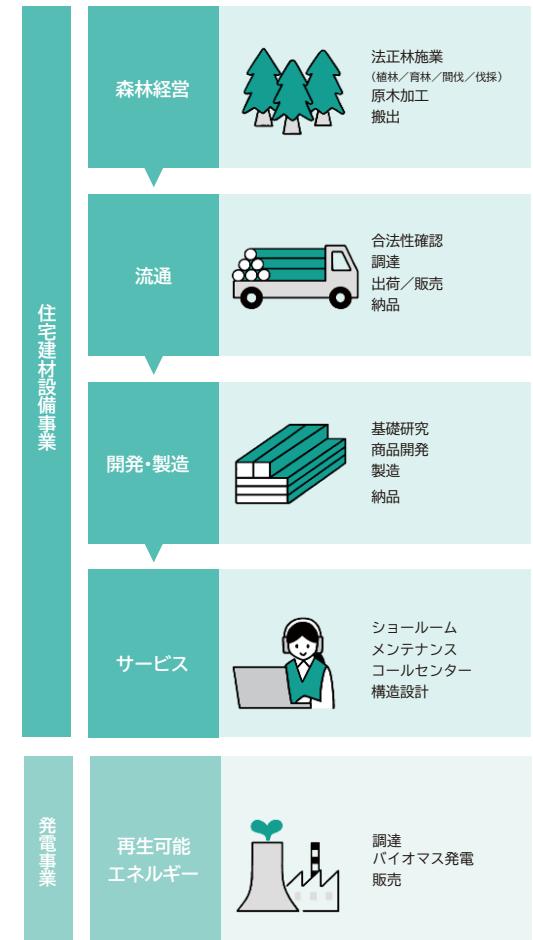
「WO Timeless standard collection」

木と、人の、GOODな関係。 ウッドワンのバリューチェーン

私たちウッドワンは創立70余年、木とともに歩んできた総合木質建材メーカーです。半世紀以上にわたり培ってきた、森林に対する豊富な知識と、高度な加工技術を基盤に、森の育成から加工・販売までの全フィールドを活動の場としています。森と人の共生=「木（wood）と、人（one）のよりよい関係」を掲げ、グローバルな視点から、人と自然、社会、そして未来に貢献します。



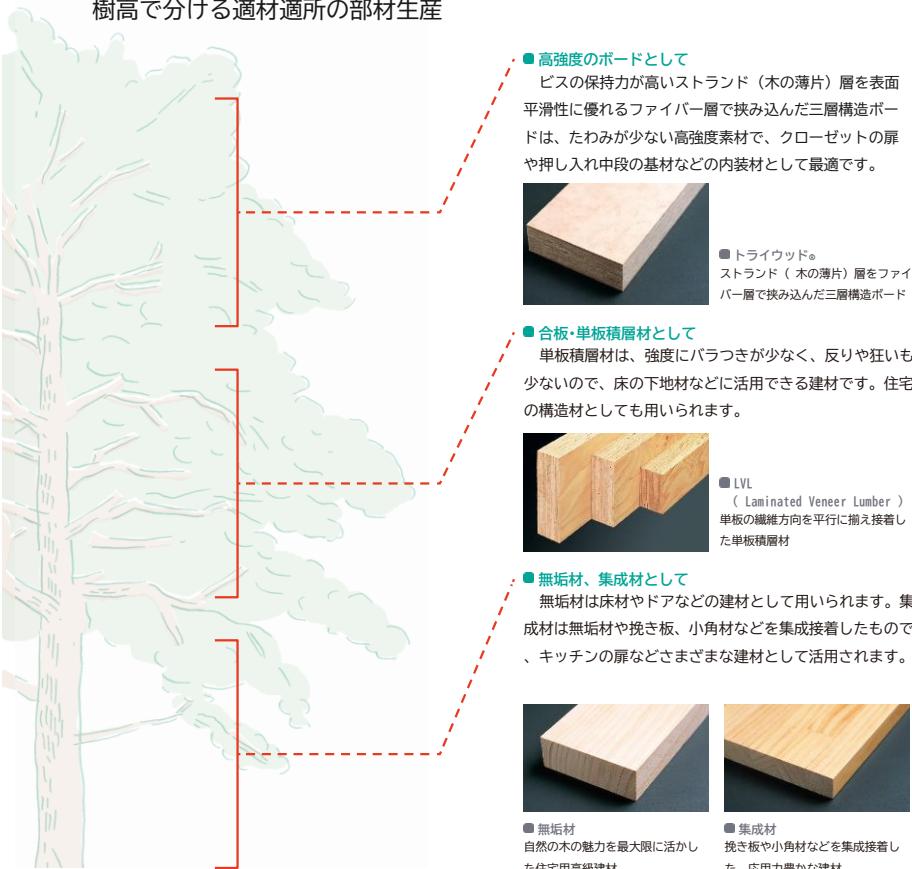
バリューチェーン



1本の木を余すことなく使いきる

ウッドワンでは、脱炭素の担い手である森林を育て、そこから資源としての木材を有効に活用するために、自ら植えて育てたニュージーパイン[®]のあらゆる部位を、建築用材に加工しています。目をかけ、手をかけ、大切に育ててきた木だからこそ、適材適所で活用し、余すことなく使いきる。それがウッドワンの商品開発のスタイルです。

樹高で分ける適材適所の部材生産



主要なブランド・商品

私たちの強みは、自ら木を育て、加工・販売までを行う一貫生産スタイルです。商品の完成形を見据え、最適な木を育てられるということです。自ら育てた木だからこそ、その長所も短所も熟知しています。「木」を取り尽くしたプロとして、素材が持つ木の面白さ、日本人の暮らしに深く根ざす木のぬくもりを、未来へ伝えていきます。

ピノアース

■ 苗木から育てた木のぬくもりを

ニュージーランドで計画的に植林されたニュージーパイン[®]を使用した無垢シリーズです。木の素材感を最大限活かす「浮造り仕上げ」が特徴的で、無垢材の持つ温かさ、優しさを最大限に活かしたシリーズです。

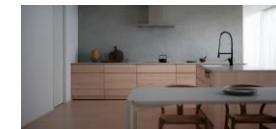


ピノアースシリーズ
(ドア、床材、階段材)

su:iji [スイージー]

■ 木を育てている会社が作る木のキッチン

スイージーに使われている素材たちは使い続ける中で過ごした時間が刻まれ、じっくり味わいを深めていきます。何十年たっても使い続けられる上質な素材を厳選し、ひとつずつ丁寧に人の手で作られたキッチンです。



su:iji [スイージー] NZ20
ウォームベージュ色

木十彩 [KITOIRO]

■ 素のままよりも、楽しい

質のよい本物の木に彩をプラス。鮮やかな色彩や豊富なデザインで、木を取り入れた空間のアイデアがさらに広がります。



木十彩 [KITOIRO]
(床材、壁材、長押)

無垢の木の収納

■ 自由に組み合わせて、たのしく仕舞う

部屋全体を包み込む無垢の木の優しさ。お部屋のインテリアや収納物に合わせて自由に組み合わせ、自分好みのオリジナル収納を作ることが可能です。



無垢の木の収納

WO Timeless standard collection

■ 上質で時代に左右されず、暮らすうちに味わい深く変化していく

ニュージーパイン[®]の魅力を最大限に活かした幅30cmの床材に始まり、ドア、クローゼット扉、階段、手すりなど、木製の統合された建材を提案します。



WO
Timeless standard
collection

四半期連結業績



(百万円)

	2025/3期					2026/3期				
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間
売上高	15,890	15,936	17,095	16,234	65,157	15,774	15,759	—	—	31,533
売上総利益	3,976	4,370	4,781	4,548	17,676	4,148	4,202	—	—	8,350
粗利率	25.0%	27.4%	28.0%	28.0%	27.1%	26.3%	26.7%	—	—	26.5%
販管費	4,114	3,946	4,362	3,941	16,366	4,108	3,954	—	—	8,063
販管費比率	25.9%	24.8%	25.5%	24.3%	25.1%	26.0%	25.1%	—	—	25.6%
営業利益	△138	423	418	607	1,310	39	247	—	—	287
営業利益率	△0.9%	2.7%	2.4%	3.7%	2.0%	0.3%	1.6%	—	—	0.9%
経常利益	412	△111	80	155	537	428	241	—	—	670
経常利益率	2.6%	△0.7%	0.5%	1.0%	0.8%	2.7%	1.5%	—	—	2.1%
当期利益	86	74	724	891	1,777	352	413	—	—	766
当期利益率	0.5%	0.5%	4.2%	5.5%	2.7%	2.2%	2.6%	—	—	2.4%

セグメント別売上

● セグメント別四半期売上推移

(百万円)

	2025/3期					2026/3期				
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間
国内/新築戸建等	9,604	9,727	10,913	10,203	40,449	9,473	9,113	—	—	18,586
国内/リフォーム・非住宅	1,660	1,984	2,263	1,881	7,789	1,937	2,060	—	—	3,998
海外/JNL(ニュージーランド)	3,328	2,970	2,654	2,046	11,000	2,553	2,992	—	—	5,546
海外/WII(インドネシア)	1,043	981	982	1,856	4,864	1,556	1,334	—	—	2,890
海外/その他	8	11	9	9	38	6	6	—	—	12
住宅建材設備事業 計	15,645	15,675	16,822	15,997	64,141	15,528	15,507	—	—	31,035
発電事業 計	254	271	283	245	1,055	256	265	—	—	521
セグメント合計	15,900	15,947	17,106	16,243	65,197	15,784	15,772	—	—	31,556
調整	△10	△10	△10	△8	△39	△10	△12	—	—	△23
合計	15,890	15,936	17,095	16,234	65,157	15,774	15,759	—	—	31,533

● 国別四半期売上推移

(百万円)

	2025/3期					2026/3期				
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間
日本	11,604	12,102	13,492	12,331	49,532	11,719	11,455	—	—	23,174
ニュージーランド※	3,109	2,731	2,443	1,960	10,245	2,377	2,898	—	—	5,275
英国	587	521	433	678	2,220	624	494	—	—	1,118
米国	284	219	319	803	1,627	698	615	—	—	1,313
その他	303	362	405	461	1,532	353	295	—	—	649
合計	15,890	15,936	17,095	16,234	65,157	15,774	15,759	—	—	31,533

※ニュージーランド国内市场向けの売上に加え、同国内の顧客を通じて中国など海外へ販売されるものも含まれる。

セグメント詳細①

セグメント	業績概要等	売上高推移（百万円）	主要な施策																								
住宅建材設備事業 国内	新築戸建て／リフォーム・非住宅	<p>■新築戸建て ■リフォーム・非住宅</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>新築戸建て</th> <th>リフォーム・非住宅</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022/3 Q2</td> <td>24,189</td> <td>2,953</td> <td>27,142</td> </tr> <tr> <td>2023/3 Q2</td> <td>24,683</td> <td>3,057</td> <td>27,740</td> </tr> <tr> <td>2024/3 Q2</td> <td>24,039</td> <td>3,408</td> <td>27,447</td> </tr> <tr> <td>2025/3 Q2</td> <td>22,976</td> <td>3,645</td> <td>26,621</td> </tr> <tr> <td>2026/3 Q2</td> <td>22,584</td> <td>3,998</td> <td>26,582</td> </tr> </tbody> </table>	期間	新築戸建て	リフォーム・非住宅	合計	2022/3 Q2	24,189	2,953	27,142	2023/3 Q2	24,683	3,057	27,740	2024/3 Q2	24,039	3,408	27,447	2025/3 Q2	22,976	3,645	26,621	2026/3 Q2	22,584	3,998	26,582	<p>★無垢商品や省施工商品といった付加価値が高い商品を核とした内装建材等の拡販</p> <p>★リフォーム・非住宅市場や海外市場といった新たな市場のさらなる開拓</p>
期間	新築戸建て	リフォーム・非住宅	合計																								
2022/3 Q2	24,189	2,953	27,142																								
2023/3 Q2	24,683	3,057	27,740																								
2024/3 Q2	24,039	3,408	27,447																								
2025/3 Q2	22,976	3,645	26,621																								
2026/3 Q2	22,584	3,998	26,582																								
海外 ニュージーランド子会社	<p>(原木販売)</p> <ul style="list-style-type: none"> 林地残材処理に伴う伐採業者の一時的な人手不足の影響で原木の伐採量が減少したことや円高NZD安により、前年同期比で2.8億円減少。 <p>(木質素材販売)</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場の一部ラインの停止の影響や円高NZD安の影響により、前年同期比で4.6億円減少。 	<p>■原木 ■木質素材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>原木</th> <th>木質素材</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022/3 Q2</td> <td>5,617</td> <td>3,160</td> <td>8,777</td> </tr> <tr> <td>2023/3 Q2</td> <td>6,040</td> <td>3,207</td> <td>9,247</td> </tr> <tr> <td>2024/3 Q2</td> <td>6,818</td> <td>2,428</td> <td>9,246</td> </tr> <tr> <td>2025/3 Q2</td> <td>6,299</td> <td>2,639</td> <td>8,938</td> </tr> <tr> <td>2026/3 Q2</td> <td>5,546</td> <td>2,175</td> <td>7,721</td> </tr> </tbody> </table>	期間	原木	木質素材	合計	2022/3 Q2	5,617	3,160	8,777	2023/3 Q2	6,040	3,207	9,247	2024/3 Q2	6,818	2,428	9,246	2025/3 Q2	6,299	2,639	8,938	2026/3 Q2	5,546	2,175	7,721	<p>★生産移管・集約化 海外工場（JNL・JPC）・国内工場を含めた一貫生産体制の再編成</p>
期間	原木	木質素材	合計																								
2022/3 Q2	5,617	3,160	8,777																								
2023/3 Q2	6,040	3,207	9,247																								
2024/3 Q2	6,818	2,428	9,246																								
2025/3 Q2	6,299	2,639	8,938																								
2026/3 Q2	5,546	2,175	7,721																								

セグメント詳細②

セグメント		業績概要等	売上高推移（百万円）		主要な施策																													
住宅建材設備事業	海外 インドネシア子会社	<ul style="list-style-type: none"> 米国の新規開拓が順調に進捗し、同国向け売上高が前年同期比172%増加。 	<p>■ 英国 ■ 米国 ■ その他</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>英 国</th> <th>米 国</th> <th>其 他</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022/3 2Q</td> <td>283</td> <td>3</td> <td>923</td> <td>1,210</td> </tr> <tr> <td>2023/3 2Q</td> <td>419</td> <td>133</td> <td>1,172</td> <td>1,726</td> </tr> <tr> <td>2024/3 2Q</td> <td>337</td> <td>45</td> <td>691</td> <td>1,074</td> </tr> <tr> <td>2025/3 2Q</td> <td>432</td> <td>483</td> <td>1,108</td> <td>2,024</td> </tr> <tr> <td>2026/3 2Q</td> <td>458</td> <td>1,313</td> <td>1,118</td> <td>2,890</td> </tr> </tbody> </table>	期間	英 国	米 国	其 他	合 計	2022/3 2Q	283	3	923	1,210	2023/3 2Q	419	133	1,172	1,726	2024/3 2Q	337	45	691	1,074	2025/3 2Q	432	483	1,108	2,024	2026/3 2Q	458	1,313	1,118	2,890	<p>★海外販売の強化 インドネシア国内+英国・米国・豪州などでの販売拡大</p>
期間	英 国	米 国	其 他	合 計																														
2022/3 2Q	283	3	923	1,210																														
2023/3 2Q	419	133	1,172	1,726																														
2024/3 2Q	337	45	691	1,074																														
2025/3 2Q	432	483	1,108	2,024																														
2026/3 2Q	458	1,313	1,118	2,890																														
発電事業	国内 —	<ul style="list-style-type: none"> 売電単価の低下により、前年同期比で売上高が若干減少。 	<p>■ 発電事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022/3 2Q</td> <td>591</td> </tr> <tr> <td>2023/3 2Q</td> <td>562</td> </tr> <tr> <td>2024/3 2Q</td> <td>517</td> </tr> <tr> <td>2025/3 2Q</td> <td>526</td> </tr> <tr> <td>2026/3 2Q</td> <td>521</td> </tr> </tbody> </table>	期間	合 計	2022/3 2Q	591	2023/3 2Q	562	2024/3 2Q	517	2025/3 2Q	526	2026/3 2Q	521	<p>★燃料の安定調達および環境負荷に配慮した持続可能な安定稼働</p>																		
期間	合 計																																	
2022/3 2Q	591																																	
2023/3 2Q	562																																	
2024/3 2Q	517																																	
2025/3 2Q	526																																	
2026/3 2Q	521																																	

- 新設住宅着工戸数推移（千戸）

	2024/1～2024/12					2025/1～2025/12					1-6月 前期比
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	合計	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	合計	
持 家	48	54	59	57	218	53	42	53	—	—	92.3%
分譲戸建	30	31	30	31	121	31	24	29	—	—	91.1%
合 計	77	85	88	88	339	83	66	83	—	—	91.9%

- ・ 住宅着工件数は、当社の住宅建材設備需要を示す先行指標で、着工から売上まで約3ヵ月程度のタイムラグが生じる。

- 為替レート推移

	2024/1～2024/12				2025/1～2025/12				前期比
	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	
NZD/JPY	90.50	97.82	90.75	89.17	85.26	87.71	86.01	—	△4.74
USD/JPY	151.41	161.07	142.73	158.18	149.52	144.81	148.88	—	△16.26

- ・ NZD/JPY：ニュージーランド子会社の売上原価に係る連結上のJPY換算額に影響。
- ・ USD/JPY：インドネシア子会社の営業利益に係る連結上のJPY換算額に影響。決算期は12月で、連結決算日との間に3ヵ月のずれがある。

- 政策金利（%）

	2025/3期				2026/3期				期末比	前期比
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末		
ニュージーランド	5.50	5.25	4.25	3.75	3.25	3.00	—	—	△0.75	△2.25

- ・ NZD/JPYの為替変動およびニュージーランド子会社の支払利息に影響。
- ・ ニュージーランド国内の新規住宅着工件数および住宅関連需要に影響。